

# 目次

はじめに	i
序章 検地の時代	1
一、古代・中世の地籍	3
二、太閤検地	6
三、江戸時代の検地	7
第一章 地租改正と地図	9
一、地租改正と地引絵図	11
二、地押更正と土地台帳	24
三、地籍編成事業	29
四、地籍条例案	33
五、目賀田種太郎	48
六、北海道の地図のあゆみ	56
七、沖縄県の土地調査	62
八、区画整理事業の黎明	65
第二章 地籍調査の時代	71
一、国土調査事業の誕生	73
二、国土調査法の体系	84
三、地籍調査と不動産登記	88
四、地図情報のシステム化	94
五、法定手外公共物の扱い	98
第三章 地籍調査の現状と課題	101
一、地籍調査の流れ	103
二、地籍調査の現状と課題	106
三、地籍調査の効果と事例	112
第四章 諸外国の地籍調査	133
一、フランスの状況	135
二、ドイツの状況	141
三、オーストリアの状況	144
四、イギリスの状況	148
第五章 地籍システムの構築に向けて	155
一、平成の地籍整備	157
二、第六次国土調査事業十箇年計画	164
三、地籍システムの構築	168
あとがき	175
新版あとがき	178
参考文献	183
巻末資料一 地籍調査・登記所備付地図整備の促進策に関する提言	187
巻末資料二 地籍問題研究会設立趣意書	194